

ベビーカーには 寿命があります！

**寿命を過ぎたベビーカーを使用し続けると、
思わぬ事故が発生する場合があります。**

寿命は、使用状況や保管状態により異なりますが、新規ご購入時から使用対象月齢期間までが目安です。
使用対象月齢期間を超えてのご使用は、材料の経年劣化により、徐々に強度の低下や各部のガタツキが大きくなることで、
本来の性能を果たせず危険を招くおそれがあります。

特に、2人目のお子さま、他人への譲渡等によるご使用は寿命を超える場合がありますのでご注意ください。

また、使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。

**安全で安心にお使いいただくため、
寿命内でも日頃からのご注意と点検をお願いします。**

安全のため、日常の自主点検をお忘れなく

✓ check 1

締結部にゆるみが
生じていないか

✓ check 2

開閉ロックの動きが
悪くなっていないか

✓ check 3

本体や部品に変形・
割れ・ヒビが生じて
いないか



ご使用上の注意

- ・ご使用前に必ず「取扱説明書」を読んで正しく、安全に使用してください。
- ・仕様対象年齢期間でも、長距離走行や走行路面、保管状態によっては、寿命が短くなります。
- ・直射日光をさけ、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所に保管してください。
- ・部品の亀裂や全体のガタツキが大きくなった等の異常を感じられた場合は、下記までご連絡ください。

販売元
株式会社 西松屋チェーン
〒671-0218 兵庫県姫路市飾東町庄266-1

【お客様相談窓口】
フリーダイヤル 0120-7-24028
受付時間 10:00～18:00
(土・日・祝日・弊社所定休日を除く)

ベビーカーを**正しく**使っておでかけしましょう！

この度は、西松屋チェーンの製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ベビーカーは赤ちゃんと楽しく快適におでかけするためにとても便利な製品です。

しかし、使い方によっては、「**予期せぬお子さまのけがやベビーカーの破損**」につながることもあります。

使用前に必ず「取扱説明書」を読んで正しく、安全に使用してください。

1 すべてのシートベルトを必ず締めて使用してください。

肩・腰バックルを股バックルに「カチッ」と音がするまで挿入した後、ベルトを強く引っ張り、確実に取り付けられていることを確認してください。



2 お子さまをベビーカーの中で立たせないでください。

お子さまは月齢が高くなるにつれ周囲への好奇心が旺盛になります。力も強くなり自分でシートベルトを外す恐れがありますので、常にお子さまの状態を確認してください。



3 2人乗りは禁止です。

ベビーカーに同時に2人以上のお子さまを乗せたり、お子さまをシート以外の所に乗せないでください。



4 お子さまを乗せたまま、ベビーカーを持ち上げないでください。

手がすべったり、フロントガードが外れたりバランスを崩し、転倒する恐れがあります。



5 お子さまを乗せているとき、カゴ以外のところに荷物をのせたり、つるしたりしないでください。

特にハンドルにつると不安定になり、ベビーカーが転倒する恐れがあります。



6 エスカレーターでの使用は禁止です。

階段や大きな段差のあるところ、また砂場、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路でも転倒の恐れがあるため、使用しないでください。



7 ベビーカーの開閉の際には、そばにお子さまがいないことを確認してください。

可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかる恐れがあります。



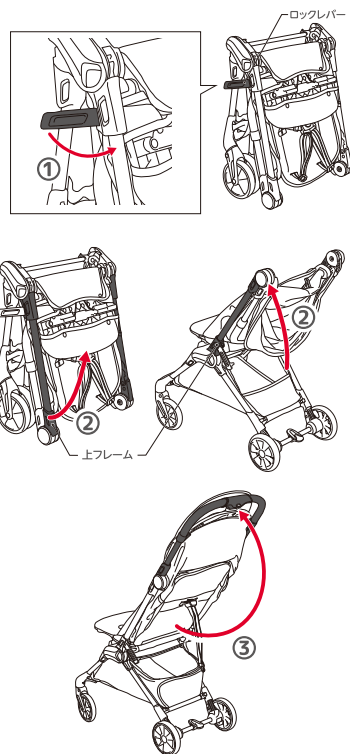
8 ベビーカー本体には、お子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。

破損・故障や思わぬ事故につながる恐れがあります。



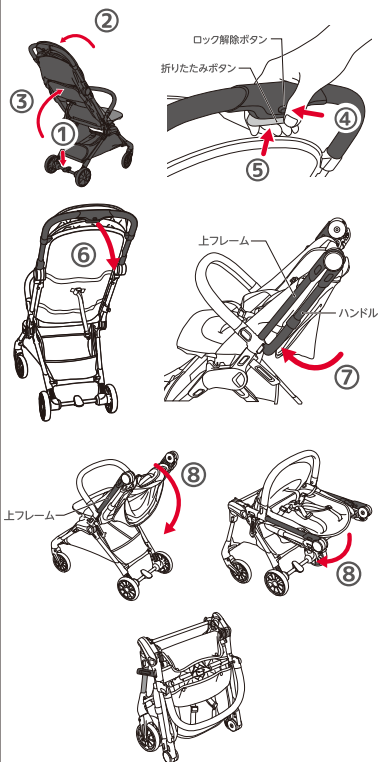


ベビーカーの開きかた



開きかた動画

折りたたみかた



折りたたみかた動画



シンコンパクトベビーカー トムス

取扱説明書/保証書

このたびはお買い上げいただき、
ありがとうございます。

- ご使用前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書は、いつでもご覧になれる場所に大切に保管してください。
- 本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。製品の機能が発揮できないだけでなく大変危険です。

開封後、各部品が揃っていることを確認してください。

- ・ベビーカー本体 1
- ・フロントガード 1

はじめに

ご使用前に	1
安全にご使用いただくために	1
各部のなまえ	4

ベビーカーの使いかた

ベビーカーの開きかた	5
フロントガードの使いかた	6
シートベルト(股ベルト・腰ベルト・肩ベルト)の使いかた	7
シートベルトの調節のしかた	8
肩ベルトの位置調節	9
背もたれの使いかた	10
幌の使いかた	10
フットレスト・アジャスターの使いかた	11
車輪ストッパーの使いかた	12
折りたたみかた	12

その他

日常のお手入れ	14
保管のしかた	14
廃棄方法について	14
ベビーカーの「標準使用期間」について	裏表紙
保証書	裏表紙

※本製品は、株式会社トムスのライセンスの基、株式会社西松屋チェーンが企画、販売するものです。

ご使用の前に

- この製品は、一般家庭でお子さまを乗せ、外気浴、買い物などに使用するための1人乗り乳母車(ベビーカー)です。
- 使用の範囲：生後1ヶ月以上※48ヶ月ころまでで、体重20kg以下のお子さま(お子さまの発育により個人差があります)
※生後1ヶ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上を満たし、1ヶ月経過したお子さまを示します。
- 望ましい連続使用時間：2時間以内(ただし、7ヶ月以上を対象にした座位使用時は1時間以内)
- ご使用の前に、裏表紙「保証書」に次の項目を記入してください。
 - ①ロットNo.(右後脚のパイプに貼ってあるシールに記載されています。)
 - ②お客様のお名前・ご住所・電話番号
 - ③販売店名
- 領収書(レシート)、または保証書シール、またはお買上票を本書と一しょに保管してください。

安全にご使用いただくために

- 製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。ここに記載した内容を見逃した場合、お子さまおよびご使用者が重大な損害を被るおそれがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。

表 示	表 示 の 内 容
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の可能性があります。

※お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。

- ここに表示した注意事項は、取り扱いを誤ると、お子さまおよびご使用者への危害が発生したり、物的損害の発生が予想される事項を危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」・「注意」の2つに区分して示してあります。安全のため必ずお守りください。

	警告 / 注意をうながす内容があることを告げるものです。
	禁止行為であることを告げるものです。
お願い	補足の説明を示すものです。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

お子さまが落ちるおそれがあります。

- すべてのシートベルトを「カチッ」と音がするまで確実に締めて使用してください。
- 肩ベルトは、お子さまの体形にあわせて調整してください。長すぎると首に巻きつく危険があります。



- お子さまをベビーカーの中で立たせないでください。
- お子さまは思わぬ動作をしますので、シートベルトを締めていても立ち上がるおそれがあります。目を離さず、十分注意してご使用ください。



ベビーカーが動き出したり転倒したりするおそれがあります。

- 車輪ストッパーを過信しないでください。車輪ストッパーをかけていても、動き出したり転倒したりするおそれがあります。



- お子さまを乗せたまま、ベビーカーから離れないでください。
- ベビーカーは空車であっても、坂の途中、車道に近い歩道など危険な場所に放置しないでください。





警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

お子さまが落ちたりベビーカーが折りたたまれたりするおそれがあります。

- ロックが確実にかかっていること(ベビーカーが完全に開いた状態であるか)を確認してから使用してください。
ハンドルを持って前輪を浮かし軽くゆするなどして確実にロックしているか確認してください。



- お子さまを乗せたまま、フロントガードを持つなどしてベビーカーを持ち上げないでください。手がすべったり、フロントガードがはずれたりバランスを崩し、転倒するおそれがあります。



- 階段、エスカレーター、大きな段差のあるところ、砂場、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路では使用しないでください。



- 破損や異常が発生した場合は使用を中止し、当社までご連絡ください。



ベビーカーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。

- お子さまを乗せているとき、カゴ以外のところに荷物をのせたり、つるしたりしないでください。特にハンドルにつると不安定になり、ベビーカーが転倒するおそれがあります。



- ご使用中にハンドルによりかかったり、荷物をつるしたりするなどハンドルへの過度の荷重はかけないでください。
また、ベビーカーに大人が腰かけたり、過度の荷重をかけたりすると破損、故障の原因になります。



- お子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けしないでください。ベビーカーの操作に悪影響を与え転倒するおそれがあります。また、過度の荷重がかかりベビーカーが破損します。



- ベビーカーに同時に2人以上のお子さまを乗せたり、お子さまをシート以外の所に乗せたりしないでください。



- お子さまが乗り降りする際は、ベビーカーが不安定になり転倒するおそれがありますのでしっかりと支えてください。
また、必ず車輪ストッパーを左右ともにロックし、ベビーカーが動かないことを確認してください。



- 排水溝のふた(グレーチング)や踏切、路面の溝など、溝がある路面を通るときは、溝に車輪をとられたりはさまったりするおそれがあります。注意しながらゆっくり進んでください。
車輪がはさまったときは、そのまま無理に走行して車輪を抜こうとせずに、フレームを持って、車輪を引き抜いてください。
- 凹凸や溝がある路面では、車輪をとられたり、はさまったり、つまずいたりしないよう注意しながらゆっくり進んでください。

指をはさむなど思わぬケガをするおそれがあります。

- ベビーカーの開閉時には、他人や小さいお子さまを近づけずに行ってください。指をはさんだりするおそれがあります。
- 幌を開いたり折りたたんだりするときには、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- シートを取りはずしたままお子さまを乗せないでください。お子さまが落ちてケガをします。
- お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。

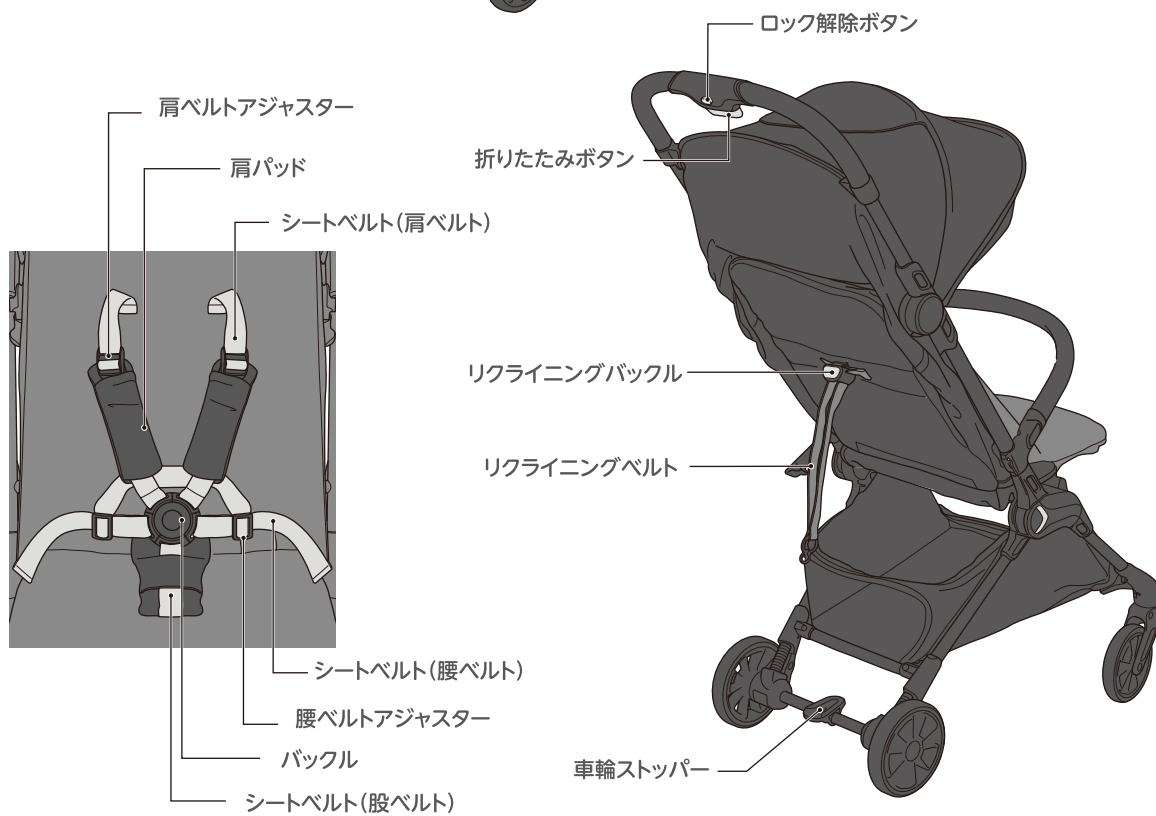


注意

誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の可能性あります。

- お子さまを乗せる以外の目的で使用しないでください。目的以外の使用では破損などのおそれがあります。
- フロントガードを引っばって使用したり、ふりまわしたりしないでください。破損のおそれがあります。
- フロントガードには過度の力を加えないでください。
- お子さまを乗せたとき、シートベルト(肩ベルト、腰ベルト、股ベルト)を締め、ベルトにゆるみがないことを確認してください。お子さまが抜け出したり、落下したりするおそれがあります。
- おすわりができないお子さまの場合は、背もたれを倒した状態でご使用ください。
- 背もたれを最も倒した状態でもお子さまが窮屈な場合は、背もたれを中間位置まで起こしてご使用ください。ただし、この使用方法是寄りかかっておすわりができるお子さまに限りです。
- お子さまの頭が背もたれ上端の生地当たる場合は、背もたれを最も倒した状態で使用しないでください。
- ベビーカーを押すときは走らないでください。走るとキャストの動きが悪くなったり、転倒などの事故につながるおそれがあります。
- 出荷時に取り付けられている部品、および当社指定の部品以外は使用しないでください。破損・故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- カゴには5kg以上の荷物を入れないでください。破損の原因となります。
- 段差を乗り越える場合は、前輪を浮かせて段差を乗り越えてください。段差を無理に乗り越えようとすると、前輪に衝撃が加わり、破損・故障の原因となります。
- 折りたたんだ状態で持ち運ぶ場合は、フロントガードを持たないでください。フロントガードの破損・故障の原因となります。
- 雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。ベビーカーだけでなくご使用者も転倒するおそれがあります。
- 風の強いときには使用しないでください。勝手に動き出したり、転倒したりするおそれがあります。
- 雷のときは使用しないでください。落雷のおそれがあります。
- 夏季の晴天日中などは、路面の影響によりベビーカー内の温度が高くなるため、長時間の使用は避けてください。
- 火の近くや夏季の車内など高温になる場所での放置、保管は避けてください。故障や変形の原因となります。
- ベビーカー本体の上に荷物などを重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。
- 製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ご使用の前に、ネジやナットなどにゆるみがないか確認してください。ゆるみやきしみがある場合は使用を中止し、必ず当社へご連絡ください。部品に異常なゆるみやきしみがあったり、部品の欠落、車輪の回転が円滑でない場合は、重大な事故につながるおそれがあります。
- 長時間の使用禁止
長時間連続してのご使用は、お子さまの負担となります。寝かせた姿勢では2時間以内、すわせた姿勢では1時間以内で休憩をとるなどしてください。
- バスの中では使用しないでください。本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 本製品は、電車などの移動交通機関の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車などの中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ず車輪ストッパーをかけて、十分注意してご使用ください。
- 電車などのご利用時に、無理な乗り降りはいしないでください。ベビーカーが電車などの自動ドアにはさまれても感知されない場合があり、重大な事故につながるおそれがあります。

各部のなまえ



ベビーカーの開きかた

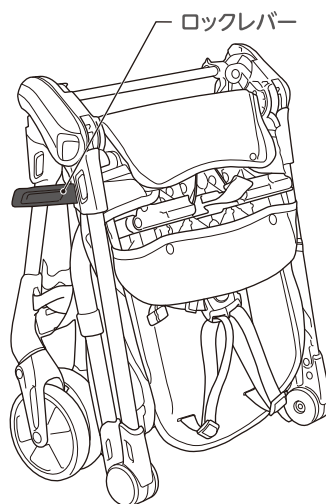
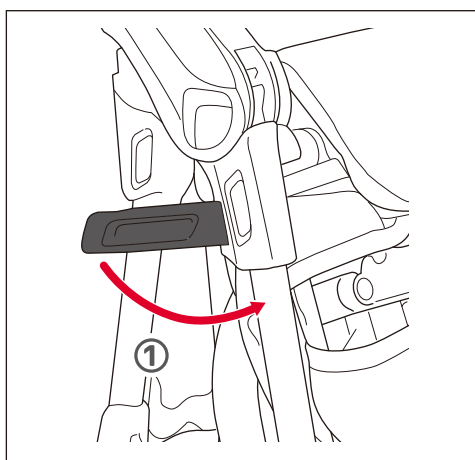


- ・ベビーカーを開くときは、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさむおそれがあります。
- ・お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。

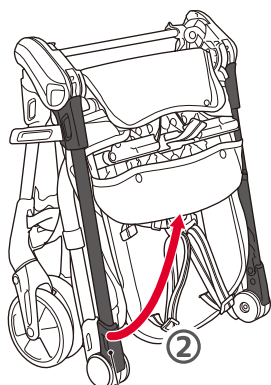


- ・何かに引っかかっていたり、はさみ込まれていたりする感じがある場合には、一度たたんで(ベビーカーを閉じて)原因を確認してください。無理に開くとベビーカーが破損するおそれがあります。

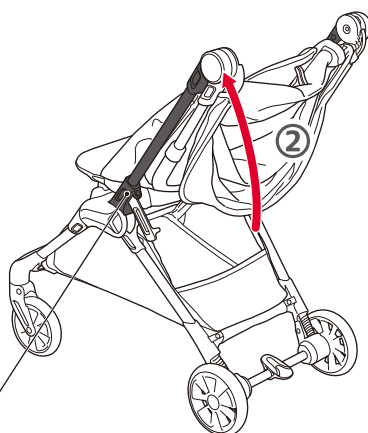
① 本体左側面のロックレバーを外す。



② 上フレームを上方へ持ち上げ本体を開く。



上フレーム



③ ハンドルを広げロックさせる。



ベビーカーを開いたあとハンドルを上下に動かし、ロックがかかっていることを必ず確認してください。ロックされていないと、ベビーカーが急にたたまれたり、倒れたりして、転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。

フロントガードの使いかた



警告

- ・フロントガードに関係なく、お子さまを乗せるときには必ずシートベルトを締めてください。
- ・フロントガードはお子さまの抜け出しや立ち上がりを防止するものではありません。
- ・フロントガードボタンはお子さまには操作させないでください。落下などのおそれがあります。
- ・フロントガードを持ってベビーカーを持ち運ばないでください。手がすべったり、フロントガードが抜け落ちるおそれがあります。



注意

- ・フロントガードを引っばって使用したり、ふりまわしたりしないでください。破損やお子さまのケガの原因となります。
- ・フロントガードには過度の力を加えないでください。また、必要以上に広げたりしないでください。故障や破損の原因となります。

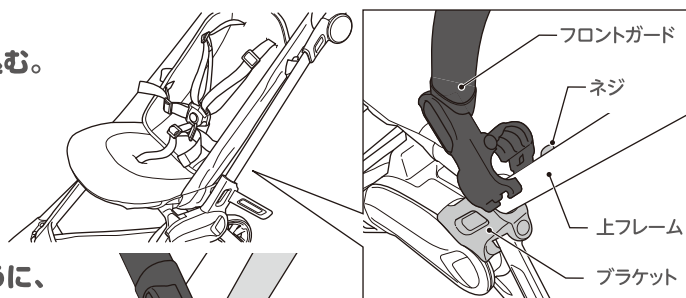
フロントガードの取り付けかた(閉じるとき)

① フロントガードを、上フレームのネジとブラケットとの間にはさみ込む。



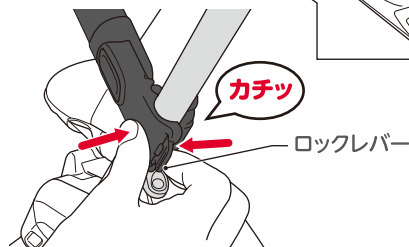
注意

フロントガードが上に曲がる向きで取り付けてください。



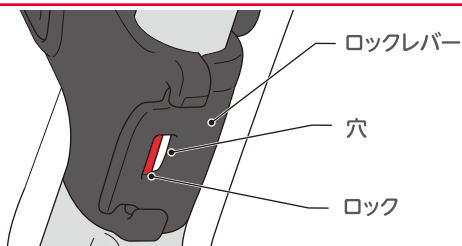
② ロックレバーを両側からはさむように、「カチッ」というまで押しロックする。

③ 反対側も同様に取り付ける



警告

- ・フロントガードを取り付けた後、後側から見てロックレバーの穴にロックが掛かっていることを目視で確認し、フロントガードを引っばって確実にロックされていることを確認してください。
- ・ロックが不完全ですとお子さまが転落するなど重大な事故につながるおそれがあります。



注意

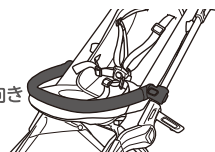
- ・フロントガードには上下の向きがあります。向きが違えばフロントガードが下がりお子さまの足にあたり、ベビーカーの開閉にも支障をきたします。
- ・正しい向きで取り付けてください。



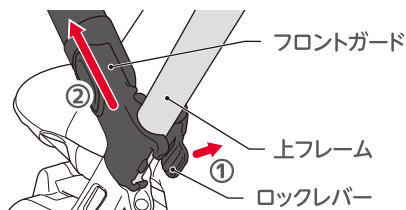
正しい向き



上下が逆向き



フロントガードの外しかた(開くとき)



① ロックレバーを外し

② 上フレームからフロントガードを外す。

お願い

フロントガードは左右どちらでも開けます。取り外すこともできます。

シートベルト(股ベルト、腰ベルト、肩ベルト)の使いかた

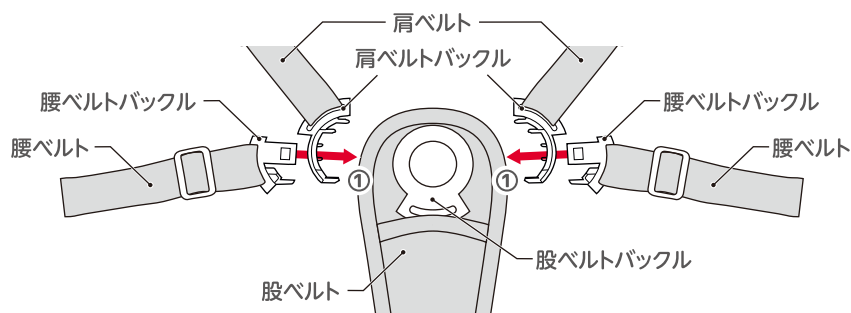
警告

- ・必ずすべてのシートベルトを締めて使用してください。また、ベルトにゆるみがないことを確認してください。締めずに使用したり、ベルトがゆるんでいると、お子さまが抜け出したり、落ちるおそれがあります。
- ・お子さまは思わぬ動作をしますので、シートベルトを締めていても立ち上がる場合があります。目を離さず、十分注意してご使用ください。
- ・シートベルトの長さは、お子さまの体にあわせて調節し、しっかりと締めてください。肩ベルトが長すぎる状態にしておくと、首に巻きつく危険があります。

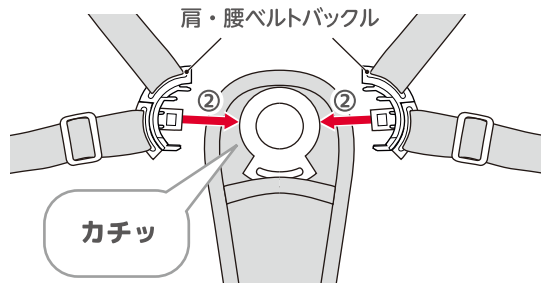
※シートベルトとは、股ベルト、腰ベルト、肩ベルトの総称です。

シートベルトを締めるとき

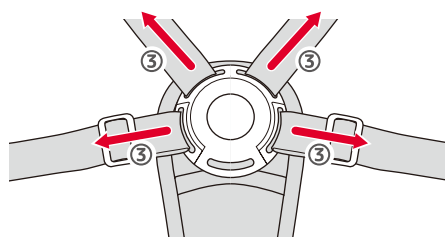
① 肩ベルトバックルに腰ベルトバックルを左右それぞれ挿し込む。



② 肩・腰ベルトバックルを股ベルトバックルに「カチッ」と音がするまで挿し込む。



③ 肩ベルト、腰ベルトを引っばりはずれないことを確認する。



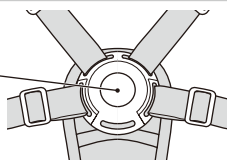
④ お子さまにあわせて肩ベルト、腰ベルトの長さを調整する。(ベルトの長さ調節は8ページ参照)

警告

- ・シートベルトが確実にロックされていることを確認してください。
- ・シートベルトを締める際、お子さまの指や手などがはさまれないよう注意してください。

シートベルトをはずすとき

バックルボタンを押す。



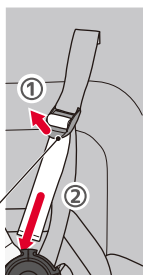
シートベルトの調節のしかた

肩ベルトの調節のしかた

締める(短くする)とき

- ① 肩ベルトアジャスターを上にあげながら
- ② ベルトの先端側を引っ張りお子さまにあうように長さを調整します。

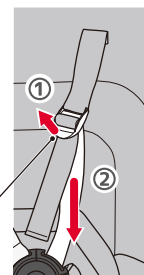
肩ベルトアジャスター



ゆるめる(長くする)とき

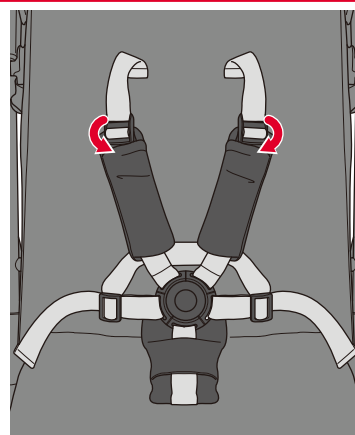
- ① 肩ベルトアジャスターを上にあげながら
- ② ベルトのバックル側を引っ張りお子さまにあうように長さを調整します。

肩ベルトアジャスター



警告

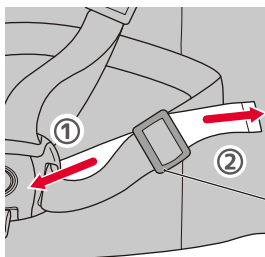
- ・ 肩ベルトの先端側が長く余る場合は、じゃまにならないよう肩パッドの中に通してください。
- ・ 長すぎる状態にしておくと、お子さまの首に巻きついたり、口に入れるなどの危険があります。



腰ベルトの調節のしかた

締める(短くする)とき

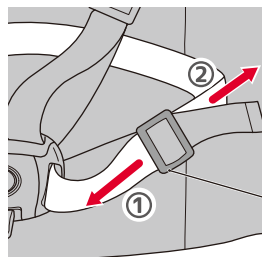
- ① アジャスターを持ち、下側のベルトを矢印方向に引く。
- ② アジャスターを持ち、先端側のベルトを矢印方向に引っ張り、お子さまにあうように調整する。



アジャスター

ゆるめる(長くする)とき

- ① アジャスターを持ち、上側のベルトを矢印方向に引く。
- ② アジャスターを持ち、シート側のベルトを矢印方向に引っ張り、お子さまにあうように調整する。



アジャスター

お願い

股ベルトは長さを調節できません。

肩ベルトの位置調節

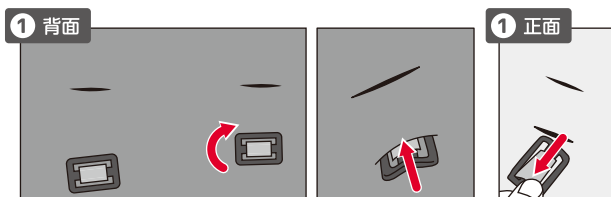
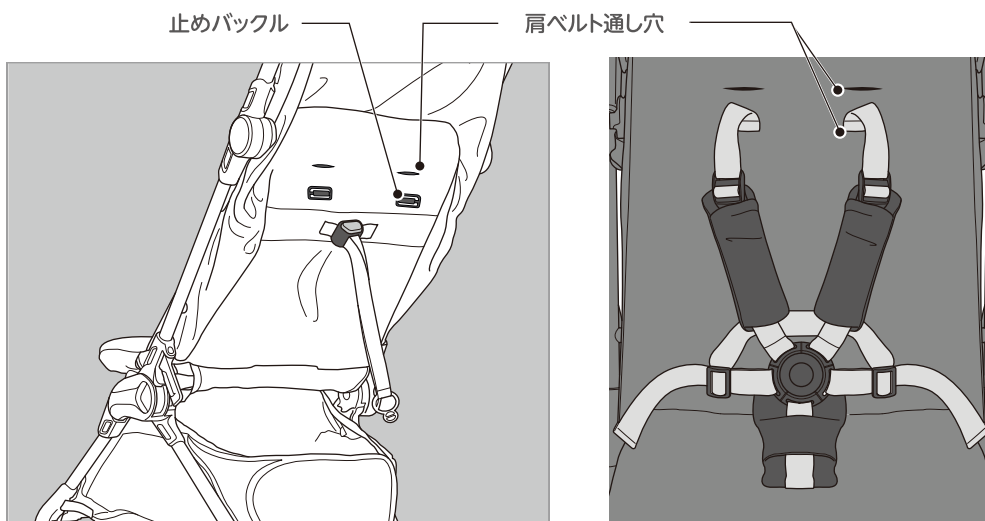


- ・おすわりができるようになったら、成長にあわせて肩ベルトの通し穴の位置を調節してください。
- ・シートベルトをお子さまの体格にあわせて確実に締めて使用しないと、お子さまが抜け出したり、立ち上がったり、落ちるおそれがあります。

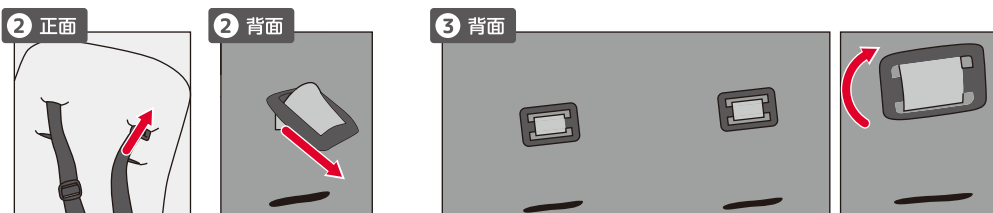
お子さまが成長し、肩の位置が合わなくなった場合には、肩ベルトの位置を変え、シートのベルト穴に通しなおし調整します。

お願い 背もたれを頻繁に倒したり起こしたりする月齢期は、下側の肩ベルト通し穴を使用してください。

- ① シート背面の止めバックルを、肩ベルト通し穴から正面側に出す。
- ② 上下のうち、お子さまの体形にあわせた肩ベルト通し穴に、止めバックルを通し背面側に出す。
- ③ ベルトのねじれを取り、止めバックルが抜けないう、向きを整える。



穴に通るよう止めバックルの向きを変え、正面側に出す。



肩ベルト通し穴に通し、背面側に出す。

ベルトが抜けないう止めバックルを図の向きにする。



- ・正面側から肩ベルトを引っ張り、肩ベルト通し穴から抜けないことを確認してください。
- ・ベルトが抜けると、お子さまが落ちるおそれがあります。

背もたれの使いかた

⚠ 警告

- ・ベビーカーを押しながら背もたれの操作をしないでください。非常に危険です。
- ・背もたれの操作時は、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- ・お子さまを乗せたまま背もたれを操作しないでください。

背もたれの操作後は、シートベルトを適切な長さに調節してください。

⚠ 注意

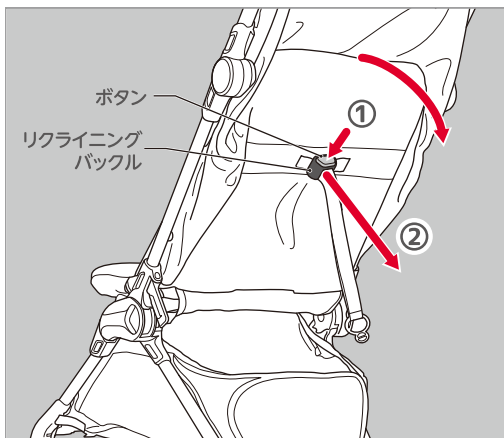
おすわりができないお子さまの場合は、背もたれを倒した状態でご使用ください。

お願い 背もたれの使いかたの目安

- 1 ヶ月～首がすわるまで：背もたれは最も倒した状態でご使用ください。
- 首がすわってから、ひとりでおすわりができるまで：最も倒した状態から中間位置まで起こした状態でご使用ください。
- ひとりでおすわりができるようになったら：最も倒した状態から最も起こした状態でご使用ください。

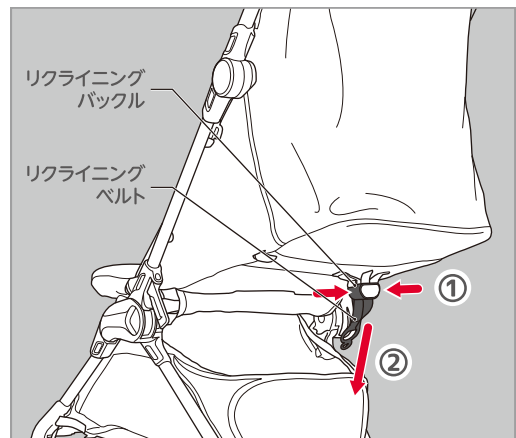
背もたれの倒しかた

- ① ボタンを押しながら
- ② リクライニングバックルを引っ張り、背もたれを倒す



背もたれの起こしかた

- ① リクライニングバックルを持ち
- ② リクライニングベルトを引っ張り、背もたれを起こす



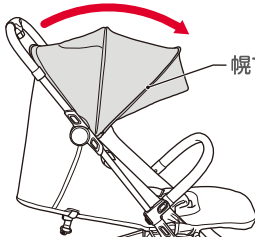
幌の使いかた

⚠ 警告

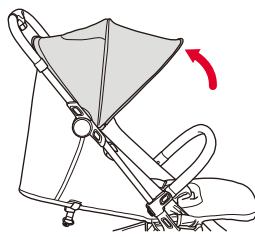
幌を開いたり折りたたんだりするときには、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。

⚠ 注意

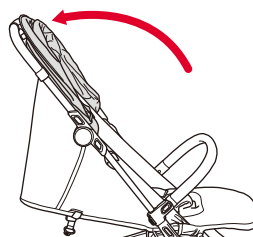
幌は日よけの役割をしますが、完全に日ざしを遮るものではありません。無理に引っばったり広げたりすると、生地がやぶれたり幌が破損したりするおそれがあります。



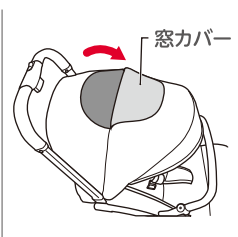
- ① 幌を使用するときは幌フレームを持ち幌を前方に広げます。



- ② 前部分を内側に折り返すことでお子さまの視界をさまたげず日よけになります。



- ③ 幌を使わないときは幌をたたみ後方にまとめます。



※ 窓カバーを開けるとお子さまのようすを見ることができます。

フットレスト・アジャスターの使いかた



警告

- ・ お子さまを乗せた状態で、フットレスト・アジャスターの操作をしないでください。お子さまや操作する人の、足、手、指をはさんだりするおそれがあります。
- ・ フットレスト・アジャスターを起こした状態で、フットレストの上にお子さまを乗せたりお子さまを立たせたりしないでください。お子さまが落下するおそれがあります。



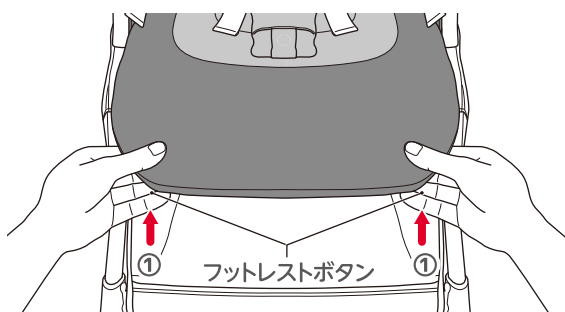
注意

- ・ フットレストの上に物をのせないでください。故障や変形の原因となります。
- ・ フットレスト・アジャスターの操作時は手や指をはさまないよう十分注意して行ってください。

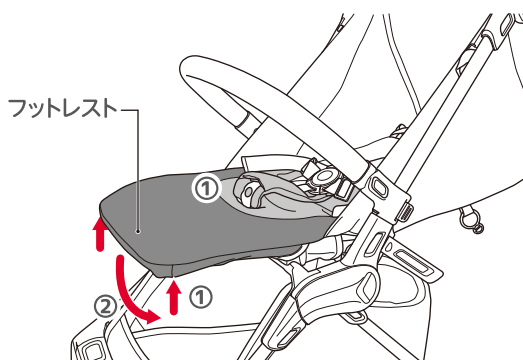
※ 背もたれを倒した状態でお子さまを乗せるときは、フットレストを使用すると便利です。

フットレストのたたみかた

- ① 座面裏先端付近、左右のフットレストボタンを同時に押しながら

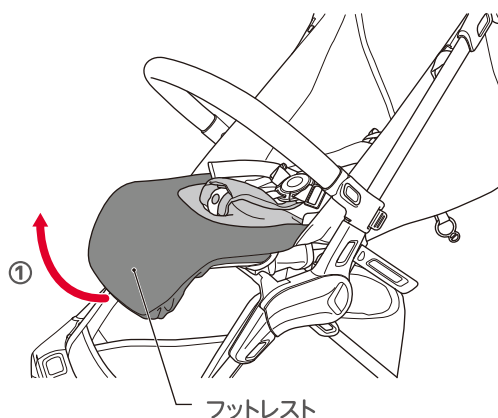


- ② フットレストを下げる



フットレストの起こしかた

- ① フットレスト先端部を持ち上げる



お願い

お子さまが楽な姿勢になる位置で使用してください。
フットレストは倒した状態、起こした状態の2段階です。

車輪ストッパーの使いかた



- ・車輪ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても動き出したり、転倒するおそれがあります。
- ・お子さまを乗せたままベビーカーから離れないでください。
- ・お子さまを乗せ降ろすときは、必ずストッパーをかけてベビーカーが動かないことを確認してください。
- ・ベビーカーは空車であっても坂の途中、車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。

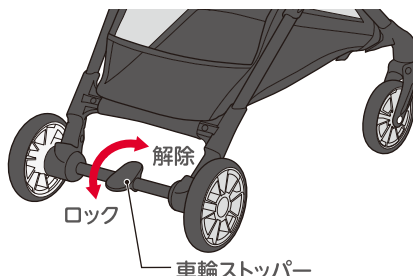
ベビーカーを停止させているときには、必ず車輪ストッパーのロックをかけてください。

車輪ストッパーをロックするとき

- ① 車輪ストッパーを押し下げてロックする。
- ② ベビーカーを軽く前後に動かしてストッパーのロックがかかっていることを確認する。

車輪ストッパーのロックを解除するとき

車輪ストッパーを押し上げる。



折りたたみかた



- ・お子さまを乗せたまま絶対に折りたたみ操作を行わないでください。重大な事故につながるおそれがあります。
- ・ベビーカーを折りたたむときは、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- ・お子さまにベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・ロック解除ボタン、折りたたみボタンは折りたたみ操作時以外は動かさないでください。



- ・ロック解除ボタンを押さずに折りたたみボタンを握らないでください。無理に操作すると破損するおそれがあります。
- ・何かに引っかかっていたり、はさみ込まれていたりする感じがある場合には、一度開いて原因を確認してください。無理に折りたたむと破損するおそれがあります。
- ・折りたたむ前に、カゴに何も入っていないことを確認してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因となります。
- ・折りたたむときは、車輪ストッパーをロックしてください。車輪がロックされていないと、折りたたむ際にベビーカーが倒れやすくなります。
- ・折りたたむ前に、幌が完全にたたまれハンドルの位置にまとめられていることを確認してください。幌の変形や破損の原因となります。
- ・折りたたむ前に、背もたれを最も起こした位置に戻してください。背もたれを起こさないと、ハンドルと干渉し折りたたむことができないだけでなく、背もたれの変形や破損の原因となります。

折りたたむ前に

① 車輪ストッパーをロックする

② 幌をたたむ

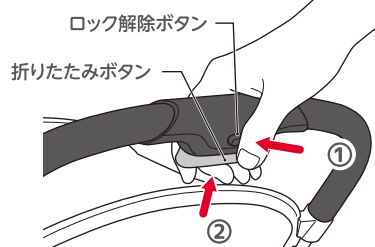
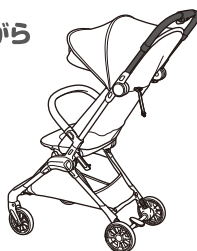
③ 背もたれを起こす



折りたたみ

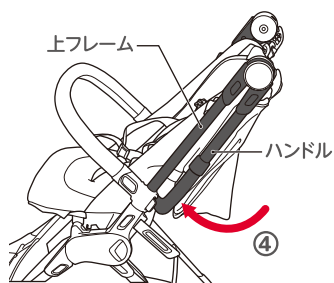
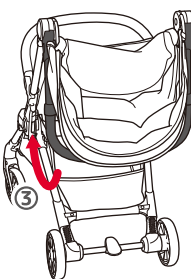
① ロック解除ボタンを押しながら

② 折りたたみボタンを握り、
ロックを解除する。



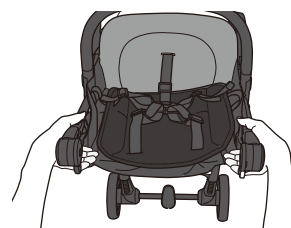
③ ハンドルを後方向に倒し

④ ハンドルと上フレームが
平行になるように、
ハンドルを固定する。

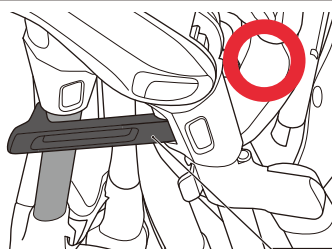
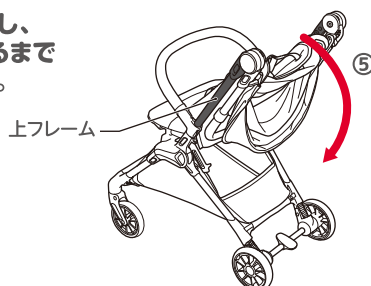


⚠ 注意

ハンドルを倒す際は、指をはさまないようベビーカーの外側から手を添えてください。

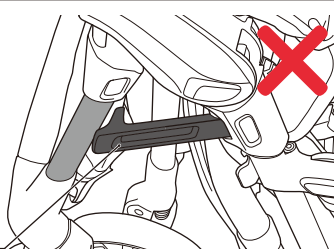


⑤ 上フレームを後方向に倒し、
ロックレバーがロックするまで
ベビーカーを折りたたむ。

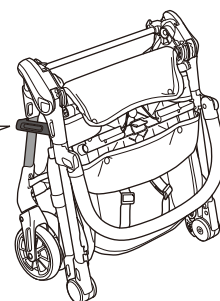


ロックされている

ロックレバー



ロックされていない



⚠ 警告

ロックレバーがロックされていることを必ず確認してください。
ロックされていないと、ベビーカーが意図せず開いたり、倒れたりしてケガをするおそれがあります。

⚠ 注意

折りたたんだ状態で持ち運ぶ場合は、フロントガードを持たないでください。
フロントガードの破損・故障の原因となります。

日常のお手入れ

縫製品の清掃について



- ・プラスチック部分やホックなどでケガをしないように注意してください。
- ・製品の特性上、若干色落ち、色あせすることがあります。
- ・洗剤は、蛍光増白剤、漂白剤、酵素などを含まない中性洗剤を使用してください。事前に洗剤の注意書きを読んでお使いください。
- ・保管状態により、カビが発生することがあります。汚れたら清掃をし、清潔に保つよう心がけてください。

- 30℃以下の液温の洗剤をつけたブラシやスポンジなどを使用して、汚れをふき取ってください。
- 洗剤を使用して汚れを取った後は、水を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回ふき取ってください。
- 乾かすときは、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。

車体の清掃について



車体の清掃には中性洗剤以外は使用しないでください。部品の変質、劣化の原因となります。

○車輪やプラスチック部品および金属部品の汚れは、水を含ませよくしぼった布でふき取ります。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含んだ布でふいた後、水を含ませよくしぼった布でふき取り洗剤分が残らないようにします。

注油について



お子さまがなめる可能性が高いフロントガードなどには、油が付着しないようご注意ください。

- きしみが発生したり、作動が鈍くなって注油が必要と思われる場合は、必ず潤滑油(シリコン系)を少量、注油してください。注油するときは、注油部分の泥や汚れをあらかじめふき取ってください。また、注油量が多すぎると、ほこりが付きやすく、かえって機能を低下させます。
- 右図に示す部分には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。



手元操作部



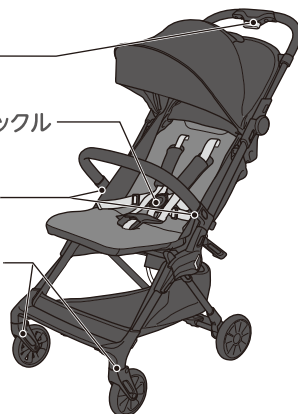
シートベルトのバックル



フロントガードの
取り付け部



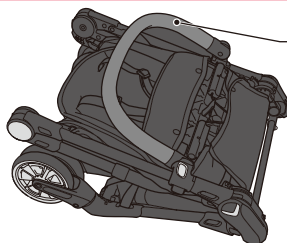
キャスター回転部



保管のしかた



- ・火の近くや夏季の車内など高温になる場所での保管は避けてください。また荷物を重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。
- ・寝かせて保管する場合は必ずフロントガードを上に向けてください。フロントガードが変形します。



フロントガード

- 直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所に立てて保管してください。屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。

廃棄方法について

- お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。

ベビーカーの「標準使用期間」について

本製品の「標準使用期間」は、新規購入から使用対象月齢期間までの4年間です。
購入後4年間を経過した製品については、不測の事態に備えて使用を中止してください。

- 標準使用期間を超えてのご使用は、材料の経年劣化により、徐々に強度の低下や各部のガタツキが大きくなることで、本来の性能を果たせず危険を招くおそれがあります。
- 2人目のお子さま、他人への譲渡等によるご使用は、標準使用期間を超える場合がありますのでご注意ください。また、使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。
- 標準使用期間内においても、使用方法や環境、保管状態により故障する場合がありますが、この期間の品質を保証するものではありません。保証書に記載している保証期間を過ぎた場合は有償修理となります。

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証規定

- 1.一度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
- 2.保証期間内(お買い上げ日より1年間)に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
- 3.保証期間内でも次のようなものは有償修理となります。
 - (a)プラスチック部品の自然劣化による変色や変形。
 - (b)金属フレームの自然劣化による変色、塗装はがれ、メッキはがれやさび。
 - (c)シートなど、縫製製品の傷、破れ、汚れや変色。
 - (d)お客様の誤使用、保管不備、または改造や不当な修理による故障および損傷。
 - (e)部品の紛失。
 - (f)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変や事故による故障および損傷。
 - (g)本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (h)本書のご提示がない場合。
 - (i)レンタル業などの業務用や施設など、一般家庭以外でご使用された場合。
 - (j)タイヤ車輪の自然磨耗。
- 4.本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの保証サービスはいたしかねます。
- 5.製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、保証できないこともあります。
- 6.ネットオークション、フリーマーケット、リサイクルショップ等の非正規流通経路にてご購入された製品は使用履歴等が不明なため、保証対象外となります。
- 7.有償修理時に要する発送費、諸経費は、修理の可否に関わらず、お客様のご負担となります。

- 製品の品質向上のため予告なく仕様を変更する場合があります。

この商品の品質で、お気づきの点がございましたら
お手数ですが右記までご連絡ください。

販売元
株式会社 西松屋チェーン
〒671-0218
兵庫県姫路市飾東町庄266 -1

【お客様相談窓口】
フリーダイヤル 0120-7-24028
受付時間 10:00 ~18:00
(土・日・祝日・弊社所定休日を除く)